

平成 27 年度 当初予算の特色

1. 一般会計の予算規模

過去最大規模の

529 億 2,730 万 3 千円

前年度比 +28 億 1,958 万 4 千円

(参考…前年度予算 501 億 771 万 9 千円)



- 東村山駅周辺の連続立体交差などの計画的な都市基盤整備や、
- 中央公民館耐震補強工事などの老朽化している公共施設等の再生などを進め、
- ◎ 都市マーケティングの視点をもった取り組みにより、「選ばれる自治体」を目指す。

2. 予算編成方針

第 4 次総合計画の前期基本計画の総仕上げと、後期基本計画策定に向け新たな政策の苗を植える予算

(政策的経費の主なもの)

事業	予算額
都市マーケティングの推進 ～シティプロモーションのために	313 万 2 千円
栄町地区認可保育所整備事業 ～保育の充実のために	6,213 万 1 千円
連続立体交差事業の推進、鉄道付属街路の整備 ～東村山駅周辺の連続立体交差など計画的な都市基盤整備のために	7 億 8,021 万 3 千円
地域公共交通の充実 ～コミュニティバスの新規導入や運行改善の検討のために	457 万 9 千円
(仮称)公共の緑の植生管理ガイドラインの策定 ～市内の緑の管理のために	646 万 4 千円

3. 主な基金の繰り入れ

基金名	概要	繰入額
財政調整基金	国の地方財政計画ほどの伸びが、市税収入では反映されないことから、財源調整のために	3 億 3,782 万 7 千円
職員退職手当基金	退職者の第 2 のピークによる退職手当のために	4 億 2,100 万円
公共施設等再生基金	中央公民館の耐震補強工事などのために	3 億 1,924 万円